

2018年7月映画興行部門興行成績速報

7月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

687スクリーン **興行収入** **5,684,991,390 円** **(前年比 79.8%)**

※楽天地シネマズ錦糸町は7月2日より改装のため休館しています。(11月中旬再開予定)

7月主要稼働作品

『劇場版ポケットモンスター みんなの物語』『未来のミライ』『劇場版コード・ブルー ―ドクターヘリ緊急救命―』
『ジュラシック・ワールド／炎の王国』『ハン・ソロ／スター・ウォーズ・ストーリー』『それいけ！アンパンマン かがやけ！
クルンといのちの星』『万引き家族』『空飛ぶタイヤ』『虹色デイズ』『BLEACH』『名探偵コナン ゼロの執行人』『ワンダー 君は太陽』『焼肉ドラゴン』『50 回目のファーストキス』『パンク侍、斬られて候』『デッドプール 2』他

1月から7月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

興行収入 **36,840,282,783 円** **(前年比 88.7%)**

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。

以 上